

電子（ペーパーレス）商取引システム：
Electronic Shipping Solutions (ESS)、Bolero International
Ltd、E-Title Authority Pte Ltd、Global Share S.A.
(edoxOnlineプラットフォーム)

こちらは、英文記事「[Electronic Shipping Solutions: Bolero International Ltd, E-Title Authority Pte Ltd, Global Share S.A. \(edoxOnline platform\)](#)」(2019年6月)の和訳です。

本サーキュラーは、国際 P&I グループ（以下「国際グループ」）が Global Share S.A. edoxOnline プラットフォームを承認したことをお知らせするものです。[Member Circular No. 7/2015「電子（ペーパーレス）商取引システム Electronic Shipping Solutions \(ESS\), Bolero International Ltd および E-Title Authority Pte Ltd」](#)にてご報告しましたとおり、2010年2月まで、国際グループ加盟のすべてのクラブのルールでは、紙による流通文書を用いた「通常の」書面での取引では生じなかったであろうものについては、電子（ペーパーレス）商取引システムでの積荷の運送に関する責任を明確にてん補から除外していました。

2010年2月20日以降、国際グループがはじめにそのシステムを承認している場合は、当該システムに基づく貨物運送に関連して生じる責任はてん補対象とされています。以後、国際グループは、Electronic Shipping Solutions が運営する電子（ペーパーレス）システム、Bolero International Ltd が運営する電子（ペーパーレス）システム（具体的には Rulebook/Operating procedures September 1999）、e-titleTM ソリューションを承認しています。これらに加えて、Global Share S.A. の edoxOnline が国際グループが承認するシステムのリストに加えられることになりました。

edoxOnline は、電子化された船荷証券の送信や裏書きを促進するための法的枠組みによって裏づけられており、紙面での船荷証券の発行が不要となります。ただし、引き続き必要に応じて紙面で発行することも可能です。edoxOnline は、ブロックチェーン技術を活用した初めての承認済みシステムです。詳細については、同社のウェブサイト www.globalshare.com.ar をご覧ください。

edoxOnline プラットフォームの利用と運営に関する法的文書と利用規約は、e-BL Terms and Conditions (T&C) です。同文書については、国際グループが確認を行い、承認しています。

積荷の運送に関してクラブのルールでてん補対象外とされてきた事項は、当然ながら、ESS、Bolero、E-Title、edoxOnline に関しても、ペーパーシステムの場合と同様に引き続きてん補対象外となります。これらのてん補対象外の例としては、運送契約に定められた港または場所以外の港または場所での荷揚げ、日付を繰り上げたもしくは繰り下げた電子文書／記録の発行・作成、流通電子文書／記録の提示なしでの積荷の引き渡し（承認済み電子商取引システムの場合、当該商取引システムのルールに準拠していない積荷の引き渡しを意味します）などから生じる責任等が挙げられます。

これまでの電子システムと同様、これら 3 つのシステムの利用状況や浸透状況を把握するため、いずれかのシステムを利用しているメンバーの皆様は、システムの操作中に生じた法律上または実務上の利点や問題点をクラブにご連絡いただけますと、国際グループとしてはありがたく存じます。

国際グループに加入するすべてのクラブが同様のサーキュラーを発行しています。

上記に関するご質問については、Gard London の Helenka Leary が担当窓口となりますが、Gard Japan (Email: gardjapan@gard.no) までお問い合わせ頂いても結構です。

敬具

GARD AS



Rolf Thore Roppestad
CEO（最高経営責任者）

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。